

「またつり行きたいな」

阿蘇西小学校 3年

まつなが ちあき
松永 千翠

ぼくは、夏休みにじいじとお母さんとお母さんの妹のねえねとお兄ちゃんと弟とぼくの六人でつりに行きました。じいじとお出かけするのは、ひさしぶりなのでわくわくしていました。まだ空が真つ暗の中みんなで車に乗って家を出ました。ぼくは、ねむくて車の中でうとうとしていました。

太陽がちょっと出はじめたくらいこのころ、やっと海に着きました。海からの風がふいて、(夏なのに寒いなあ)とぼくは思いました。みんなで船に乗っている時に、ぼくが、「ちやんとつれるかなあ。」と言った。じいじが、「じいちゃんが教えてやるからだいじょうぶだ。」と言いました。ぼくは少し安心しました。

長い間船に乗っているとつり場に着きました。近くにはむじんとうみたいなしまも見えて、ぼくはわくわくしました。つり場に着くとじいじがつり方を教えてくれました。じいじに、「つり糸が止まったら一番深くまで下りているから、うきが動くまでじっと待つんだぞ。」

と言われました。ぼくは言われた通りじっと待つてみました。すると、うきが少し動いた気がしました。「じいじ、動いたかも。」とぼくが言うと、じいじが、「ちよんちよんちよんと三回動いたら引つばれ。」と言いました。言われた通り引つばってみると、たいがつれていて、ぼくは、「うお。」と声が出ました。するとねえねが、「ちいくん、一番乗りやん。」と言いました。ねえねはぼくを見てにこにこしていました。ぼくもうれしくてえがおになりました。つれたたいを外すのはじいじがしてくれました。じいじはとてもかんたんそうに外していて、いつもよりかっこよく見えました。

ちよんとして、となりでつっていたお母さんも魚をつりました。二ひきぐらいつっていました。それを見てぼくは、(ぼくのつった魚より大きくてずるいなあ。もっと大きいのをつってやる)と思いました。しばらく、つりざおをじっと見ていると、つり糸が動いた気がしました。あわてて引つばるとつりざおがこわれて、魚もにげてしまいました。それを見てじいじは、「つるときはやさしくつらないとにげちゃうぞ。」とぼくに言いながら、つりざおを直してくれました。だけどその後は、なかなか魚はつれませんでした。家に帰って、みんながつった魚をじいじがさばいてくれました。つりるときと同じで、じいじはとても上手でした。つったたいは、しゃぶしゃぶとやき魚にして食べました。やき魚を食べるときに、お母さんが、「たいはおなからへんが一番ほねが多いからね。」と言いました。だから、ぼくはほねに気をつけて少しずつ食べました。自分がつった魚はとてもおいしかったです。みんなで食べているときにぼくが、「またつり行きたいな。」と言いました。それを聞いてお母さんが、「冬休みにまた行こうね。」と言ってくれました。そしてじいじが、「冬の方がつりやすいからな。」と言いました。冬にはもっと大きな魚をつりたいと思いました。

先生からのコメント

図工の時間、夏の思い出を紙版画で表す際に、魚釣りの様子を染しそうに作り上げた千翠さん。魚の鱗一枚一枚まで、丁寧に作り上げられた作品を友達から、「本物みたいだね。」とほめられ、嬉しそうなお表情を見せました。そのことから、家族と一緒に過ごした魚釣りの時間がとても大切に温かい時間だったことが伝わりました。

相撲の試合に家族で出かけ、応援してもらったこと、家族と一緒に料理をしたことなど、千翠さんが家族と過ごしたことを話するとき笑顔が溢れています。千翠さんが学校生活の中で見るあきらめない姿の背景には、千翠さんを支える温かい家族との時間があるのだと感じました。





阿蘇医療センター

☎ 34-0311

受付時間 8:30 ~ 11:30

(一部診療科を除く)

※ 診療は前日までの予約制です。

(緊急時と小児科を除く)

地域医療!

阿蘇医療センター通信

Aso Medical Center

#97

出前講座を開設しています

当 院の出前講座では、疾病の予防・傷病の手当・諸検査・栄養管理などについて、当院の職員が有している専門的な知識・技術などを市民の皆さまに紹介・解説します。当講座での交流を通して市民の皆さまの健康管理に関する意識や知識向上のお役に立てれば幸いです。

申込方法

- ① 希望日の1ヶ月前（医師の場合は2ヶ月前）までに、申込書を下記に提出してください（FAX可）。
申込書は、病院ロビーやホームページ上に準備しています。
※ 診療の都合上、日程を調整する場合があります。
- ② 日程や内容などを打ち合わせるため、団体・グループの代表者（担当者）あてに講座担当がご連絡します。
- ③ 当日、ご指定の会場へ当院スタッフが講師としてお伺いします。

問合せ・申込書提出先

阿蘇医療センター事務部 総務課 経営企画係 〒869-2225 阿蘇市黒川1266

☎ 34-0311 FAX 34-2273

Q & A

Q 申し込みができるのは

阿蘇市内にお住まいか、通勤、通学している人で構成され、約10人以上の参加が見込まれる地区・会社・学校・施設・グループなどです。

Q 講座の会場は

場の手配や準備、費用負担などは申し込まれた団体、グループでお願いします。場所は阿蘇市内に限ります。

Q 講座を開くことができる時間帯は

平日（月～金）の午後1時から午後5時まで、所要時間はおおむね30分～1時間程度です。

Q 講師の費用は

講師料は無料です。

— 新築住宅・注文住宅・建て替え・リフォーム・リノベーション・土地探しのお手伝い—

ASO HAPPY LIFE

阿蘇の厳しい自然環境でも冬暖かく、夏涼しいシガホームの家づくり
快適さへの根拠（エビデンス）と住み続けて分かる、変わらない快適な家

 SHIGA HOME

☐シガホームは、「健康寿命をのばす家® ファースの家」を推奨しております!

(有)南部志賀工務店(シガホーム) 〒869-2222 熊本県阿蘇市西町86-1 TEL:0120-931-403

広告

地域全体で見守り



▲見守り隊の隊員

一の宮小の児童の登下校時に見守り活動を行う「一の宮っ子見守り隊」が発足しました。12月13日、隊員約30人が児童450人のもとを訪れ、代表の児童から青色のベストを受け取りました。市原たくみ巧隊長は児童たちに「皆さんのことを必ず守るので、何かあったときはこの青色のベストを着た人へすぐに声をかけてほしい」と呼びかけました。

音楽で復興支援



▲南木美土里さん(右)

12月20日、音楽家グループ「AMABILE」の南木美土里さんが市長のもとを訪れ、熊本地震からの復興を支援するために同グループが主催したコンサートで集めた募金を手渡しました。

コンサートは昨年11月3日に阿蘇市就業改善センターで開催されました。南木さんは「今後もできる限り続けていきたい」と話しました。

野球やろうぜ！



▲グローブでキャッチボール

ロサンゼルス・ドジャースに所属する大谷翔平選手から全国の小学校に寄贈されたグローブが市内の小学校にも届きました。

1月19日、一の宮小では届いたグローブ3個を全児童の前で段ボールから取り出してお披露目。少年野球チームに所属しているはまだいぶき濱田一颯さんは「大谷選手のグローブを見て気合が入った。次の試合は活躍します」と意気込みました。

全国大会出場者

ラグビーフットボール

第103回全国高等学校 ラグビーフットボール大会

むらかみ もとき
村上 基樹

(九州学院高3年／阿蘇中出身)

そのだ けいご
園田 圭悟

(九州学院高1年／阿蘇中出身)

ソフトボール

第20回都道府県対抗全日本 中学生女子ソフトボール大会

うえの あおい
上野 葵衣(阿蘇中2年)

まつの りな
松野 莉奈(阿蘇中2年)

ともだ るみ
友田 瑠美(一の宮中2年)

サッカー

第102回全国高等学校 サッカー選手権大会

たなべ ゆきひさ
田辺 幸久

(大津高3年／内牧小出身)

駅伝

女子第35回全国高等学校 駅伝競走大会

ふるき あいり
古木 愛莉

(ルーテル学院高2年／一の宮中出身)

将棋

第32回全国高等学校文化連盟 将棋新人大会

はま ひろな
浜 宏奈(尚綱高2年／阿蘇中出身)

非常食パン寄贈



▲贈られた非常食パン

北村俊策しゅうさくさん(株式会社リョーユーパン代表取締役会長)が、災害時用の「非常食パン」3,000個を市に贈りました。

九州で多発している自然災害を受け、インフラが寸断されて食事が手に入らない事例が多いことに心を痛めた北村さんの地域社会に貢献したいとの想いが込められています。

ASO田園空間博物館 (道の駅阿蘇)

JAF会員が選ぶ!

「イチオシ道の駅グランプリ」熊本県内 **1** 位



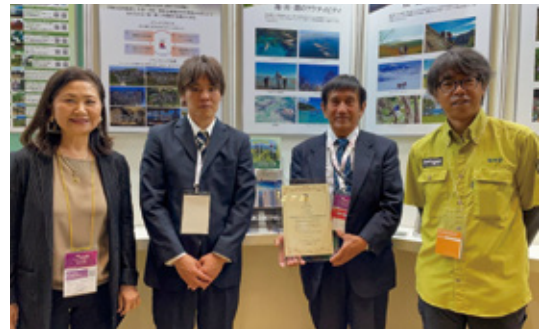
山本章夫理事長 (右)

九州・沖縄にある全ての道の駅を対象としたグランプリで、道の駅阿蘇が「ブルメ」設備「絶景・映えスポット」の3部門総合で8度目の熊本県1位を獲得しました。投票した人からは「阿蘇の雄大さを感じられる」「お弁当が豊富でおいしい」という声をいただきました。山本章夫理事長は「取り扱っているアイテムのうち90パーセント以上は阿蘇市の産品を置いている。今後は多言語の観光案内などに磨きをかけたい」と話しました。

道の駅阿蘇を管理・運営するASO田園空間博物館は、「ジャパン・ツーリズム・アワード2023」で入賞しました。アワードは優れた取組をモデルケースとして広く世の中に知らしめ、さらなるツーリズムの発展に貢献していくことを目的に実施されており、今回で7回目。140件の応募から道の駅阿蘇の「阿蘇の牧野をアクティビティフィールドとして活用した牧野ガイド事業と広域連携サイクルツーリズム」が入賞しました。

TOPICS

ジャパン・ツーリズム・アワード 2023 入賞



ジャパン・ツーリズム・アワード 2023 表彰式に参加

牧野との連携事業は平成30年12月に町古閑牧野からスタート。専門の講習を受けたガイド付きで草原内でのトレッキングやMTBを楽しむことができました。今回は、ガイド料の一部が牧野の維持管理費に充てられ、草原再生に協力できる点が高い評価を受けました。現在は西小園、狩尾南山、下荻の草の4つの牧野で体験が可能です。今後も国内外の人にツアーを周知し、参加してもらおうことで、草原の魅力を伝えていきたいです。



立石さん(左から2人目)と中山さん(右から2人目)

第17回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト in 山形県庄内町で、道の駅阿蘇の研究会組織の一つであるライスイノベーション研究会会員の立石翼さんの「くまさんの輝き」がプレミアム部門優秀金賞、(有)アグリテック保久土の中山北斗さんの「コシヒカリ」がメジャー部門最優秀金賞に輝きました。今後も阿蘇の特産品の情報発信を通じて、地域経済の活性化に貢献します。

ライスイノベーション研究会
会員による受賞報告